

むつに産廃処分場

青森クリーン
現地で竣工祭

むつ市の産業廃棄物処分業「青森クリーン」(加藤秀人代表取締役社長)が、同市奥内二又山に建設を進めていた産業廃棄物・一般廃棄物最終処分場が完成し25日、現地で竣工祭しゅんこうさいを行った。

南側にある既設の1期、2期処分場(埋め立て容量計43万300立方メートル)は、5月にも埋め立てを終える予定。処分場の新設に当た



青森クリーンがむつ市奥内二又山に建設した産業廃棄物・一般廃棄物最終処分場

り、青森銀行、みちのく銀行、商工中金などによる総額20億円の協調融資を受け、2017年5月に着工した。

処分場は管理型。3期処分場(埋め立て面積3万1759平方メートル、容量43万1717立方メートル)の埋め立ては今月から開始。その後、4期処分場(埋め立て面積1万9559平方メートル、容量32万4059立方メートル)の造成工事を行い、3期処分場の埋め立て終了時に4期処分場の埋め立てを始める。

3、4期を合わせた埋め立て面積は5万1318平方メートル、容量は75万5776立方メートルで、埋め立て期間は15年間。埋め立て容量は、既設処分場の1・75倍に当たる。

竣工祭で加藤社長は「地元との絆を一層強固にしていく」とあいさつした。竣工祭終了後、同社は、むつ市の市制施行60周年を記念し、同市に寄付金100万円を贈呈した。(柿崎洋樹)